



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Denryoku Jiji Tsushin (18 October 2013, Japan)

Posted on: 22 October 2013

Page no.: p8

隔日刊 月・水・金曜日発行（休日休刊）

昭和40年4月30日第3種郵便物認可

- 平成25年（2013）10月18日（金曜日）第6998号
- 二ネ庁 印へ二ネ技術促進の資金スキームを提案…(2)
 - エネ庁 中部など4電力へ料金変更命令の対象外…(3)
 - 環境、経産省 実用化へ浮体式風力2実証近く運開…(3)
 - 電力各社 NEDO省エネフォーラムで最新技術…(4)
 - 東北電 新料金メニューの加入推進で広報徹底…(5)
 - 東京電 新潟支社の機能強化で県との関係改善へ…(6)
 - 東京電 汚染水貯蔵タンクの増設計画を前倒し…(6)
 - 北陸電 労組の尾谷執行委員が連合富山の会長に…(7)
 - 電発 アジア11か国の太陽光視察事業に協力…(7)
 - ユアテック 震災復興に向け仙台市に水族館新設…(7)
 - 中電工 事業多角化で農産物の加工品販売を開始…(8)
 - エネ総研 25日に第327回月例研究会を開催…(8)

電力時事通信

発行所
㈱電力時事通信社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-9-14
郵政福祉虎ノ門第1ビル
TEL (03)3501-9330/9
FAX (03)3592-0787
購読料 6ヶ月28,350円(税込)



蔵量を80万tにする」予定だったタンク増設計画も前倒しし、16年12月までに貯蔵容量を80万tとしたい考えだ。

北陸電力労組の尾谷康弘・特別執行委員は、連合富山の13～14年度の会長就任が内定した。今月23日開催の定期大会で正式決定する。任期は2年。尾谷氏は75年入社、87年に労組の本部執行委員となり、同書記長などを歴任した。

電源開発は今日18日、北九州市若松区の響灘太陽光(1000kW)でアジア太平洋地域の視察団を対象に見学会を実施する。視察団にはインドやモンゴル、シンガポールなど11か国の政府高官や団体幹部ら19人が参加。国際機関であるアジア生産性機構(APO)が、日本国内の最新技術について学び、自国への技術移転に役立ててもらおう目的で太陽光・太陽電池をテーマに初めて企画したもので、視察団は14～17日、経産省エネ庁や北九州市の再生可能エネルギー普及に向けた政策に関する講義や同市のスマートコミュニティ見学などを行った。電発は、同事業への協力の一環として視察団を受け入れ、総務グループの松浦邦彦課長代理が、発電設備の概要や特色などを説明する。

ユアテックは、東日本大震災の復興支援を目的に、仙台市の総合公園内に「仙台水族館(仮称)」を新設する。国交省の都市再生特別措置法に基づく民間都市再生整備事業として、仙台市が所有する同公園内に、S造2階建て延べ9800㎡、総水量3000tの大規模水族館を建設する計画。ユアテックは三井物産、横浜八景島、カメイなど